

中学校へのスムーズな移行のために ～小中一貫教育で安心して新しい環境へ～

(1)困っていること

- 新しい環境にとまどうことばかり。
- 先生も替わってばかりで、落ち着かない。
- 上級生とのかかわり方も心配。

毎時間、先生が
違うんだ！
担任の先生は
どこ？

知らない人がいっぱい。
学校に行きたくないな。

(2)要因

中学校生活のことが分からない！

そこで…

(3)対応

小学校高学年からの移行準備！



①時間の管理

- ノーチャイム制でも時間を守ろう！
子ども…時間になったら着席する。
教師…時間になったら授業を始める、終える。
- 時間割は予定通りに。
- 担任以外の授業を計画的に取り入れる。



②学習への姿勢

- 授業中は、立ち歩かない。
- 教科別にノートを用意する。
- 提出物は必ず出す習慣をつける。

特性や有効な支援の方法等、必要な事項を学校からの引き継ぎだけではなく、家庭からも情報提供をしてもらうのもいいですね！



ちょこっとコラム チャイム編

「ノーチャイム制」のねらいは大きく分けて、時間の意識を持たせること、自由な授業展開をすることの2つがあるようです。

しかし、発達障害のある子はチャイムがある方が過ごしやすいという声も聞きます。発達障害のある子にとってのチャイムはどのような意味を持つのでしょうか？きちんとチャイムを鳴らし、学校全体がスムーズに次の時間へと流れていくことは、ある意味大変重要なことです。発達障害のある子にとって、チャイムが鳴るということは、時間に対して、いい意味でパターン化することができ、時間の波に乗りやすいのではないのでしょうか。特別支援教育の視点で「ノーチャイム制」を考えると大変難しい問題だと感じました。

